

前年度の事故・災害実績・反省	安全目標	目標を達成するための具体的施策
<p>1. 2025年度 自動車事故報告規則第2条に規定する事故</p> <p>年度目標 0件</p> <p>自動車事故報告書届出件数 実績 0件</p> <p>自動車事故報告規則第2条に規定する事故の報告書届出件数0件</p> <p>2. 前年度の実績</p> <p>◇国交省告示第1366号に基づく乗務員教育と労働安全衛生法に基づく作業安全教育について、映像を活用した教育資料の制作や、労働災害事例再現映像の制作・視聴により年間計画通り実施することができた。全乗務員への実技体験教育を継続して実施。前年度は車両事故だけでなく、労働災害防止教育にも内容を拡充。(上期=車両特性(高さの危険) 下期=荷役作業の危険(転落・墜落))</p> <p>◇車両物損事故に於いて、車両後退時の後突事故が増加。その殆どが安全不確認によるものであり、改めて後退時の安全確認の徹底と均等な注意の配分の重要性を再認識する取り組みを行う。輸送の安全に携わる運送事業者として、様々な事故撲滅への取り組みを継続する。</p>	<p>1. 2026年度 自動車事故報告規則第2条に規定する事故</p> <p>自動車事故報告書届出件数 目標 0件</p> <p>安全最優先での運行を継続し、重大事故・負傷災害の撲滅に努めます。</p> <p>2. 負傷災害事故の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・躓き転倒による負傷災害事故の防止。 ・荷役作業中における負傷災害事故の防止。 <p>3. バック事故の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後退開始前の後方確認の徹底。 ・後退前の降車確認及び目視確認の習慣化。 ・後退方法の指導教育の実施。 <p>4. 走行クレームの撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやり、譲り合い運転の励行。 ・一般車両、歩行者に優しい配慮ある運転の励行。 	<p>1. 負傷災害事故の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・躓き、滑りによる転倒原因の座学教育の実施。 ・負傷災害の再現動画視聴による安全教育の実施。 ・年齢と身体能力の低下に伴うケガの発症リスクと健康管理教育の実施。 <p>2. バック事故の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックの死角範囲「車両特性」実技体験教育の実施。 ・降車確認と目視確認の実践方法の指導。 <p>3. 走行クレームの撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回走行パトロールの実施。 ・ドラレコのインカメラ設置車両の増車(新車購入時導入継続) ・ドラレコ映像を活用したKYTの継続実施。(ヒヤリハット、クレーム映像) ・接客マナー社内教育の実施。 <p>4. 実技体験教育の継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技体験教育の継続実施。「躓き転倒の怖さ・後退と後方安全パートII」 ・緊急時対応訓練の実施。

目標・唱和	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次安全目標	バック事故の防止	交差点内の事故防止	駐車場内の事故防止	ながら運転の事故防止	車線変更時の事故防止	自転車への接触事故防止	構造物への接触事故防止	バック事故の防止	巻き込み接触事故の防止	積雪、凍結によるスリップ事故の防止	架装部操作時における事故の防止	道交法の遵守
安全唱和 交通事故・負傷災害の防止	バック時は後方確認念入りに ヨシ!	やってみよう譲る運転に 事故は無し ヨシ!	駐車場運転操作は慎重に ヨシ!	今必要? 運転中に そのスマホ ヨシ!	ウィンカー 早めの合図と 安全確認 ヨシ!	交差点 自転車の存在 見落とすな ヨシ!	ハンズホン 一瞬のわき見が 事故を呼ぶ ヨシ!	確認は 仕事の一部だ 確実に ヨシ!	見られてます トラックは 走る広告塔 ヨシ!	凍結積雪 慣れない路面に 無理するな ヨシ!	操作手順 守って 身を守ろう ヨシ!	法令遵守は 事故防止の基本 ヨシ!
接客マナー挨拶唱和	おはようございます	お世話になっております	失礼いたします	よろしいでしょうか	承知いたしました	ありがとうございます	おはようございます	お世話になっております	失礼いたします	よろしいでしょうか	承知いたしました	ありがとうございます

活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
乗務員安全会議	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	
乗務員安全会議12項目教育(※)・安全作業教育(※)	④ ⑤ ①	⑩	⑨	⑪ ②	-	③ ⑫	⑧ ③	⑦	-	① ④	②	-	
安全協議会	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	
グループ安全合同会議	◎	◎管理者向け講義	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	
指導教育	1年未	ドラレコ含む運転指導	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		抜打ち	1・9ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		ヒアリング	1・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	事故者惹起	前年度	ドラレコ含む運転指導	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			抜打ち	3・9ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		ヒアリング	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2年上	ドラレコ含む運転指導	1回/年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		抜打ち	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	定期	添乗2~5年	1回/年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		添乗6年以上(偶数年度)	1回/2年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	抜打ち	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	※安全指導課巡回走行パトロール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	KYT	「ドラレコ=KYT」	「ドラレコ=KYT」	「ドラレコ=KYT」	「ドラレコ=KYT」	-	「ドラレコ=KYT」	「ドラレコ=KYT」	「ドラレコ=KYT」	-	「ドラレコ=KYT」	「ドラレコ=KYT」	-
	実技体験教育	-	「躓き転倒の怖さ」	「躓き転倒の怖さ」	「躓き転倒の怖さ」	-	「躓き転倒の怖さ」	「後退と後方安全パートII」	「後退と後方安全パートII」	-	「後退と後方安全パートII」	「後退と後方安全パートII」	-
	緊急時対応訓練	-	ISO認識・マナープログラム	洗車場分離槽越流/漏洩	廃棄物の飛散	-	-	廃棄物の火災	-	-	-	-	-
コンプライアンス教育	-	◎	◎	-	-	◎	-	◎	-	-	◎	-	
運行管理内部監査(運搬委託会社)	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	
リスクアセスメント(収集業務作業)	リスク抽出	リスクの見積り	→	リスクの優先度の設定及び低減措置の検討	→	リスク低減措置の実施	→	→	→	→	→	→	
安全指導	安全会議巡回	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	
	現場巡回(要望顧客現場)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	選任前・事故後教育(コンプライアンス含む)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	特定教育:新人(入社3年未満)	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
運行管理内部監査	-	(大栄アメント)	(セーフティア일랜드)	(和泉・六甲・三木)	-	(摂津清運)	-	(三重中央開発・京都)	-	-	(京都かんきょう)	-	
啓発・トピック	春の全国交通安全運動 4/6~4/15	-	-	優良ドライバー表彰	熱中症予防	秋の全国交通安全運動9/21~9/30	-	-	感染症予防	感染症予防	-	年度末 無事故無災害運動	

※「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」(2001年8月20日国土交通省告示第1366号 2017年3月12日改正施行)

※ 安全作業教育(負傷災害再現動画視聴を含む)

- ①トラックを運転する場合の心構え
- ②トラックの安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③トラックの構造上の特性
- ④貨物の正しい積載方法
- ⑤過積載の危険性
- ⑥危険物を運搬する場合に留意すべき事項 ※(教育対象除外項目)

- ⑦適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況
- ⑧危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑨運転者の運転適性に応じた安全運転
- ⑩交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法
- ⑪健康管理の重要性
- ⑫安全性の向上を図るための装置を備えるトラックの適切な運転方法

- ①荷台上でのシート掛け作業
- ②荷役作業中の負傷災害防止
- ③車両乗降、及び、荷台昇降時の転落防止
- ④悪天候時の作業について